

---

---

## 第10回 北条・里見水軍ヨットレース 帆走指示書

1. 責任の所在の確認  
レースはスポーツマンシップの精神をもって行わなければならない。特に外洋レースは、主催者やレース委員会が直接管理できない水域において行われるレースであるため、艇および乗員の安全を図り、併せてシーマンシップとフェアプレーの精神を生かすのは、艇長および乗組員自身である。
  - ① 本レースのレース委員会は、レースの公平な成立にのみ責任を担う。
  - ② 参加艇や乗組員の事故（死亡、傷害、沈没、破損等）および第三者に与えた損害については主催、共催、協力の各団体等は如何なる責任も負わない。
  - ③ 艇と乗組員の安全の確保はオーナーの避けられない責任であり、オーナーは、所有艇が十分に艤装され、かつ、必要な耐航性を保ち、荒天の海にも適した経験豊かなクルーを乗り込ませるようにしなければならない。  
オーナーは、船体、スパー、リギン、セールおよび全ての備品を確実に整備し、また安全備品が適正に維持格納され、それ等の使用法と置場所を乗組員に熟知させておかなければならない。
  - ④ 乗組員は、自己の責任に於いて自身の安全を確保し、落水等のないよう努め、かつ、艇と乗組員の安全の確保に努めなければならない。
  - ⑤ 何れの艇に乗るか、またレースに参加するか否かは全て各乗組員の責任のみで決定される。
  - ⑥ レース艇がスタートするか否か、またレースを続行するか否かは、全て各艇の責任のみで決定される。
2. 適用規則  
本大会公示、同帆走指示書、国際セーリング規則(RRS)2013-2016及びJSAF外洋レース規則2009を適用します。
3. レースの日程  
平成27年 9月20日(日) 09:55 予告信号
4. 参加艇に対する通告  
参加艇に対する通告は、レース本部(うらり事務所)の1階に設置された公式掲示板に掲示します。  
油壺ヨットクラブのホームページ内に設置された公式ホームページも公式掲示板と同等扱いとし、同じ掲示を行うものとします。
5. コース(公示5項を変更)  
コース1: スタート ⇒ 網代崎沖灯浮標(通称赤白ブイ)(反時計回り)  
⇒ 城ヶ島南西沖浮漁礁ブイ(反時計回り)  
⇒ フィニッシュ(約16NM)  
コース2: スタート ⇒ 城ヶ島南西沖浮漁礁ブイ(反時計回り)  
⇒ フィニッシュ(約11NM)
  - ① コースの決定は、予告信号の前、もしくは同時に数字旗を掲揚します。
  - ② レース中は、三崎港内(三崎と城ヶ島の間)の航行を禁止します。

- 
- 
6. スタート
    - ① スタート・エリアは、35° 07.7' N、139° 38.7' E付近とします。  
(城ヶ島東端安房崎から約100° 0.7NM付近)
    - ② レースコース1の場合には、数字旗1を掲揚。  
レースコース2の場合には、数字旗2を掲揚。
    - ③ スタートは、次の通り信号で合図します。  
予告信号(5分前)大水軍旗(黄色)の掲揚と音響信号1声  
準備信号(4分前)P旗掲揚と音響信号1声  
1分信号(1分前)P旗の降下と音響信号(長音)1声  
スタート(0分前)大水軍旗(黄色)の降下と音響信号1声
    - ④ スタート・ラインは、スターボード・エンドとなる本部艇(漁船形状・白色・第8ネコ丸)のうらり旗(白色)を掲げたポールと、ポート・エンドとなるマーク(黄色の円筒型ブイ)とを結ぶ線とします。
    - ⑤ スタート信号後10分以内にスタートしなかった艇はDNSとします。
    - ⑥ クラス分けした場合も全艇同時スタートとします。
  7. リコール  
リコール艇があった場合、RRS 29.1により音響信号(1声)と共にX旗が掲揚されます。補助的にその艇のセール番号又は艇名をラウド・スピーカーで通告することがある。但し、この通告が遅れたり聞こえなかったりしても、救済の対象にはなりません。(通告はサービスであり、コミティーの義務ではない。復帰は各艇の責任です。)X旗は、リコール艇が完全に復帰したら降下します。但し、スタート信号後4分を経過したら、リコール艇が復帰しなくても降下します。
  8. ゼネラル・リコール  
ゼネラルリコールの場合、RRS 29.2により、音響信号(2声)と共に第一代表旗を掲揚します。新しいスタートの予告信号は、音響信号(1声)と共に第一代表旗降下の1分後に発せられます。
  9. フィニッシュ・ライン  
フィニッシュ・ラインの位置はスタート・エリア付近とします。  
フィニッシュ・ラインは、うらり旗(白色)を掲げた本部艇のポールと、フィニッシュ・マーク(黄色の円筒型ブイ)とを結ぶ線とします。
  10. タイム・リミット  
タイム・リミットは 15:00とします。  
このタイム・リミット内にフィニッシュしなかった艇は、DNFとします。
  11. コース短縮  
コース短縮の場合のフィニッシュ・ラインはRRS32.2(a)に従い、回航マークとS旗を掲げたポールとの間とするが、そのS旗はうらり旗(白)を掲げた本部艇又は運営艇とします。  
尚、クラス別によるコース短縮は行いません。
  12. レースの成立  
各クラスのトップ艇のタイム・リミット内でのフィニッシュをもって成立とします。
  13. 失格に代わる罰則  
RRS第2章以外の規則違反については、プロテスト委員会は失格に代わる罰則として、ペナルティを課することがあります。
- 
-

14. 参加確認および救命具

- ① 参加艇は、レース中水軍レース旗をバックステイまたはスターン・パルピットの見やすい位置に掲揚しなければならない。
- ② L旗掲揚前は、本部艇はスタート準備を行っているため、近づかないこと。
- ③ 参加艇は9:45までに、メインセールもしくはリコールナンバーを揚げ、L旗を掲揚する本部艇を右舷に見てそのスターンを通過し、出艇の確認ならびに個人用浮揚用具の着用の確認を受けなければならない。
- ④ レースの途中でリタイアした艇は、レース旗を降下し、レース中の他艇及び他の船舶を妨害しないようにレース・エリアを離れ、速やかに本部艇にその旨を伝えなければならない。
- ⑤ Y旗掲揚の有無に関わらず、乗員は出艇確認14. ③以前より、フィニッシュ又はリタイアするまで、個人用浮揚用具を着用していなければならない。尚、実行委員会としては、出港から帰港までの間の着用を強く推奨します。

15. 順位決定方法

公示11のレーティングにより所要時間を修正して順位を決定します。

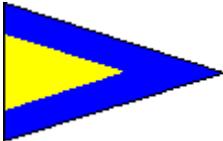
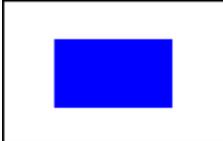
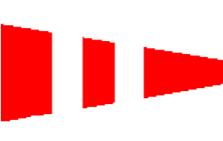
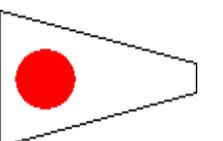
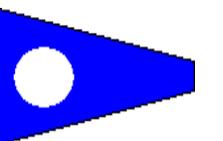
16. レースの中止

悪天候などやむを得ない事情により事前にレース中止とする場合には、レース委員会の判断により、公式掲示板、および公式HPに告知します。

16. 水軍レースに用いる主な旗

(記載以外の旗も用いることがあります)

 <p>北条 里見</p>		
大水軍旗 (黄色)	うらり旗 (白色)	参加艇レース旗 (黄色)

	P旗 準備信号		第一代表旗 ゼネラルリコール
	X旗 リコールあり		S旗 コース短縮
	L旗 声の届く範囲に來い		回答旗 延期 (降下1分後準備信号掲揚)
	数字旗 1 (コース1)		数字旗 2 (コース2)